

原発をなくす全国連絡会

連鎖学習会 ”第6弾”

新エネルギー基本計画 を斬る

安倍政権は、原発を「重要なベースロード電源」として、将来にわたって維持・推進し、原発再稼働をすすめるとした、「新エネルギー基本計画案」を発表し、早期に閣議決定しようとしています。福島第一原発事故の原因の究明もされておらず、事故収束の見通しも立っていない状況で、この原発事故の反省もなく、原発再稼働・輸出をすすめることは論外です。各種の世論調査でも原発について「今すぐ廃止」「将来は廃止」を合わせると7～8割になっています。そこで、この「新エネルギー基本計画案」について学習を深め、徹底批判をしていきましょう。

日時:2014年4月18日(金)18:30～20:30

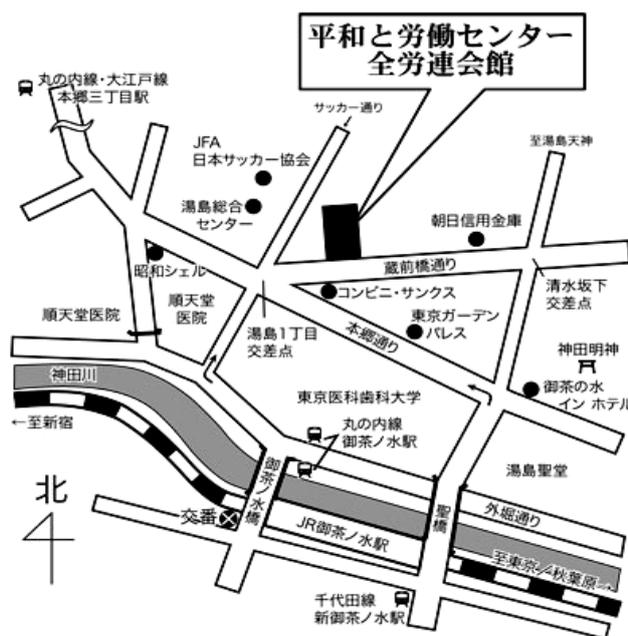
会場:全労連会館2Fホール(文京区湯島2-4-4)

アクセス:JR中央線「御茶ノ水駅」・丸の内線「御茶ノ水駅」下車 徒歩7分

参加費:無料



講師:大島堅一氏(立命館大学教授)



1967年福井県生まれ。専門は環境経済学、環境・エネルギー政策論。主な著書に『原発のコスト』(岩波新書)、『再生可能エネルギーの政治経済学』(東洋経済新報社)、『原発事故の被害と補償』(大月書店)などがあります。

主催:原発をなくす全国連絡会

連絡先:全国労働組合総連合 TEL:03-5842-5611 E-mail:move@zenroren.gr.jp